

クラス番号	922	担当教員名	小藤 あけみ
テーマ	協働のまちづくり 武豊町をフィールドとして誰でも気軽に来れるサロンを開いてみよう		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

少子高齢化・環境問題・教育・防災等、地域の課題は多様化しています。武豊町では、住民と行政とのパートナーシップのもとに協働していろいろな取り組みが行われています。このような「新しい公共の取り組み」がこれからの福祉・まちづくりには欠かせません。

また、地域にはいろいろな資源があります。人や家、物や情報などなどそれらの資源を結びつけたり、活用したりと資源は使われることでいろいろな力を発揮します。

武豊町をフィールドとして実際に行われている協働の取り組みを調べたり・体験したりしながら、そのひとつである誰もが気軽に立ち寄れる地域のカフェを皆さんの提案のもと開いてみたいと思います。

授業計画：

前期は、武豊町の地域福祉計画等を読み、行政はどのような計画のもとにまちづくりを進めようとしているのかについて理解します

その上で、いくつかのグループに分かれて、武豊町の行政との協働事業として平成25年度から行われている「たけとよ協働パートナーシップ事業—武豊提案型協働事業」について調べます

また実際に参加して、その取り組みがどのような地域課題から考えられ、どのような方法で解決を図ろうとしているのか。また継続していくための工夫や仕組みなどをまとめて、報告会を行います。

後期は、気軽に立ち寄れる地域のカフェについて、どんなカフェが必要だろうか。またカフェに来てもらうにはどうしたらいいのか。誰に手伝ってもらえるといいのかなど、考えて各グループで企画しプレゼンテーションを行います。そのうち皆さんが選んだ一つの企画でカフェを一日運営する予定です。

## 担当教員からのメッセージ

いろいろと考え、調査し、企画し、実際に行う事を通して地域での実践の楽しさを味わってもらえたらいいなあと思っています。

学校の授業で学んだことを実践の中で再確認し、不足している知識やさらに学びたい事をその中で知ることによって3年生以降の学習に生かすことが出来ます。そんな体験がしてもらえそうなゼミにしたいと思います。なお地域の事業は土曜日や日曜日に行われることも多いので、ゼミの定期時間以外での授業もありますのでその点に留意ください。